

令和2年3月19日（金）

1 議題

(1) イメージアップ施策にかかる啓発イベントについて 資料1 資料2

ア 会場の手配について、10/18（日）のセントラルコート、レストランコート、1F主通路を確保した。なお、イオンホールとイノブ横はスケジュールが埋まっているため、イオンリテールに交渉するとともに助言をいただき、イベントを1Fで収めることができるレイアウトを確保した。

レストランコートでは10程度のブースを配置できる見込み。1F主通路は最低4区画（1区画＝長机2本分程度）を確保。イオンリテールからは、イベントの詳細が決まっていけばさらに相談に応じられると回答を得ている。

イオンシネマについては、200人席を確保した。本来300人の最大スクリーンを借りたかったが、現在、様々な映画が先送りになっており確保できないとのこと。

イ 地域イベントの紹介も兼ねて「むすびフェス&マルシェ」に協力を依頼し、検討いただいているところ。

ウ 高校教育研究会においては、綾羽高校福祉科を中心にご協力いただくこととなった。

エ 前回の会議で、企業の協賛を募ってはどうかとご意見いただいた。委員においてアイデアがあればいただきたい。ただし、イオンリテールからは協定内（会場料無料）で物品販売は不可とのこと。

【委員】

10月18日当日、コンテスト形式というわけにはいかないが、実行委員会を青年部中心に立ち上げ、ベッドや車いす等を持ち込み、ストーリー制を持たせデモンストレーション（実演）を行う。準備や撤収に時間が掛かるため、会場展開が複数回必要ならセントラルコートからレストランコートに変更した方が良いのではないか?という意見が出た。

【事務局】

三重県の介護フェアのように観覧できるステージ上が印象的になると考えていた。

準備や撤収の件については、昼休憩の時間を利用するなどの順番や準備中のつなぎ、イベント委託による環境整備の中でも工夫していきたい。

【副部長】

現在の老健協会の状況と取組案。

＜セントラルコートかレストランコートでの取組として＞

①正しい手洗い方法と手洗いチェックと行う&マスク作り

- ・手洗い方法・簡単な感染症の講演（手洗いしないと感染に繋がる危険性）
- ・手洗いチェッカーによるチェック
- ・子供たちと一緒にマスク作り

②老健施設の利用方法・取組を知ってもらい、相談に応じる

- ・県内にある老健施設の紹介
- ・老健の利用方法

③ビンゴ大会

④滋賀県キャラクターとの写真撮影会

協会の委員には再度検討してもらっている。

【事務局】

引き続き検討をお願いしたい。ちなみに、滋賀県福祉用具センターから紹介いただいたヒューマノイドロボット (NAO) が協力で呼べるならステージでも使えるので、コラボなどはどうかと考えていたので参考にさせていただきたい。

キャラクターについては、キャプフィー、うおーたん等を手配しようと考えているところ。なお、着ぐるみの貸出なので、交代で中に入る必要がある。

【オブザーバー】

議題について意見はないが SNS を利用するのであれば、フェイスブックのみでなくツイッターやインスタグラムも開設するのはいかがか。イベント当日の告知、テレビ配信の告知のみでなく開催に向けて準備の様子を日々配信することで幅広く周知に繋がるのではないかと思う。

【事務局】

ツイッターとインスタグラムについても滋賀県の公式アカウントがあり、活用していきたい。イベントに向けた告知はおっしゃるように準備段階から継続して発信したい。

【委員】

今月、介護福祉士会の理事会があり、イベント班とマスメディア班に分けて担当させていただくことになった。イベント班については、介護福祉士会の中で実行委員会を立ち上げて準備をしていきたいと考え、現在メンバーを募集させていただいている。

【事務局】

引き続き検討をお願いするとともに情報共有をお願いしたい。

【委員】

- ・確認だが、前回(第4回)会議時点では、イオンホールにて人材C主体で「就職フェア」を実施する企画内容だったが、レストランコートでの「就職相談コーナー」(1ブース分?)にシフトしたということか。
- ・その場合、「就職相談コーナー」では資料1にあるように、人材センターが開設するLINEの登録メリット(実装するLINE機能は今後要検討)のPRも併せてする。

【事務局】

就職フェアからブースにシフトしていただくとともにLINE等のPRをお願いしたい。LINE登録推進は当日の共通ミッションにもしたいと考えている。

【委員】

「むすびフェス&マルシェ」主催者より協力していただけると返事いただいた。直接コンタクトできるよう名刺を預かっている。

むすびフェスでは、PT・OTの養成校のブースを確保し、生徒による車いす体験やインスタントシニア体験をしてもらえるようにした。物販関係なしに子供が興味を持ちよっていた。

【事務局】

主催者の方に連絡させていただいて、協力の了解を得た。音楽によるパフォーマンスや音響機材の協力などが可能と聞いている。

養成校へも打診させていただいており、体験のアイデアも伝えさせていただく。

【委員】

ファッションショーの打合せについては、4月中にはしたい。
予算や具体的内容、県と連合会の準備割り振り等の詳細を決めていきたい。

【事務局】

引き続き情報共有をお願いしたい。

【委員】

当会は、介護保険制度の説明や介護保険サービス内容の説明などができると提案していたが、特になにもしなくてよいという理解か？

【事務局】

総合相談が良いという意見が出ており、各団体合同でのブースも想定したので未定とさせていたが、ケアマネ協におかれては、介護保険制度の説明や介護保険サービス内容の説明などをしていただけるものと認識している。

【委員】

- ・「むすびフェス&マルシェ」については、今回のイメージアップに直結する団体だと考える。協力が頂けることを期待する。
- ・ケアニンの上映会の時間枠について朝の9時30分からの予定。興味のある方の事前申し込みはあると思うが、募集で定員割れした際に、上映が1部であれば午後枠の方が当日参加枠の案内もしやすいのではと思う。前回の会議で2部講演の案も出ていたため、午前、午後であれば問題ないと思う。

【事務局】

上映時間については、鑑賞した後にイベントに流れていただくために早朝を設定させていただいた。同様の観点で第2部をイベント後の16:30頃にと試みたがシネマのスケジュールの都合上、2部構成自体が叶わなかった。

定員割れと当日参加については、おっしゃるとおり対応を考えておきたい。

【オブザーバー】

イオンモール草津での一日、大型イベントということで子どもからお年寄りまで幅広く介護について触れてもらえると思った。

また、イベント開催の広告をどこまで広げられるのかが課題になるのではないかと。

【事務局】

広告については、費用対効果を考慮しつつチラシだけでなく様々な媒体や主体を使いたい。また、例えば県においては6万人が登録する「しがしがメール」をよく利用するが、若年層の登録数は少ないので、学生等に伝わる方法も検討したい。

(2) イメージアップ施策に係るマスメディアの活用について 資料3 資料4

ア 各団体での推薦方法について案をお示しさせていただく。ご異議なければ、各団体にこの内容で依頼文書を発出したい。また、期限について可能か伺いたい。

【委員】

「資格・キャリア・労働環境」というワードで、自薦他薦を問わず、事業所を募集する。
(テレビ出演)事務局取りまとめ、三役で決定⇒委員⇒県へ報告

【事務局】

承知した。

【副部会長】

＜マスメディアの活用＞

現在、協会全施設で特徴のある職員を紹介してもらうよう要請している

前に提案したが、アニメ化を再度検討してもらいたい。どっかの学校等とコラボが一番いいと思われる。私も今、色々な人にそのような取組をしてもらえる学生や学校がないか探している。

期限については、できる限り先送りにしてもらいたい。せっかく良い取組なので、できる限り良いものを選出したい。

【事務局】

現在、団体によっては会議を開けない状況も聞いていることから、推薦期限については5/22とさせていただく。

動画はきっかけの一つであることから、即就職とはならないと認識している。まずは次のステップへ誘導することを考えて、様々な参入促進策と組み合わせていくことが必要と考えている。

アニメの放送についてさらに情報収集したところ、アニメ制作から放送までを委託すること自体は可能だが、質を求めるのは制作に要する手間の観点からも困難。仮にアニメ関係の学校等の協力が得られるとした場合には、アニメ制作期間がどの程度必要になるかがポイントとなる。なお、そうした学校とはテレビ放送に限らず、何らかの連携が図れないか考えておきたいし、情報があれば提供いただきたい。

【委員】

5／8締め切りと言うことで構わない。

【事務局】

承知した。

【委員】

- ・テレビ番組出演者の推薦書について、各事業所から直接、県に提出となるのか、一度、各団体でとりまとめしてから県に提出する方法をとるのか？
- ・推薦書については、部会によっては職種が限定されるが、施設等であれば様々な職種があるため、職種を記載できる欄があると良い。

【事務局】

推薦書の提出にあたっては団体で取りまとめた上で、県に提出お願いしたい。
職種欄を追加させていただく。

【オブザーバー】

様々な立場の方が出演することで、介護の中でも自分に合う職に出会う機会になると思う。また、介護職を現在目指している方にも同様に行うとフレッシュな意見が得られると思う。

【事務局】

介護サービスの利用者とその家族の立場から出演していただくテーマもあり、そうした立場から介護の仕事や介護職員の魅力、感謝、応援を発していただくことで、視聴者には期待や応援のある職業であることを感じていただくとともに、介護職員の魅力発信がより説得力のあるものを感じていただければと考えている。

(3) 次年度の部会体制について **資料5**

ア 現在の部会を「滋賀県介護の魅力等発信部会」とし、各団体から1名程度で参画いただきたいと考えており、次年度に改めて団体に推薦の依頼をしたい。

イ イベントとテレビ番組の実行のための連絡会議を設置して5月下旬頃から打ち合わせに入りたい。開催案内は各協力者に直接行う。

【副部会長】

昨年度のメンバー構成は良いが、さらに若者を多くいれれば良いと思われる。介護分野以外や介護分野の中から、大学生や20代・30代前半の職員、介護系の高校生など。また、教育分野からもメンバー構成には必要かと、できれば教育委員会の方など。

会議自体は、現在、コロナ感染等で実施しにくい状況であるが、準備や必要な会議は数人でも行うべき。

【委員】

推薦にあたり、メンバー像のイメージを共有されたほうが良い。

【委員】

現場で活躍されている介護職は女性の方が多いため、6:4の割内で女性が多くなるような委員輩出をお願いしたい。特に介護現場に近い団体からは女性委員に出ていただきたい。

【委員】

部会の継続と、イベント・TVの連絡会議をそれぞれになるのかと思う。今年度の部会メンバーが中心にはなると思うので、開催日等の調整ができると思います。

【事務局】

(滋賀県介護の魅力等発信部会)

介護分野以外からの参画も検討させていただく。

女性の意見をより採用できる方法についても、各団体での状況を伺いながら検討させていただく。また、委員は若手の方と想定している。いずれにしても団体の代表として参画いただくことはこれまでと同様で、様々なご意見をいただきたい。

なお、次年度は、イベントやテレビ等の新規事業を主として魅力発信に関する総合的な進捗管理と評価、またこれらの事業の令和3年度に向けての企画が主なものと考えており、実行のための「イベント・番組放送事業に関する連絡会議」とは棲み分ける。年4回程度を想定しており、委員数も今年度よりコンパクトにと考えている。

(イベント・番組放送事業に関する連絡会議)

連絡会議では、議論はもちろんいただくが、団体や事業所を取り次ぐ連絡員として出席いただくことを想定している。団体や事業所の事情に応じて、例えば、特定された方でなく、出席者が都度変わる場合もあると想定している。